

「見える化」システムを活用した

浜田圏域介護保険事業の特徴

浜田地区広域行政組合

令和2年8月27日

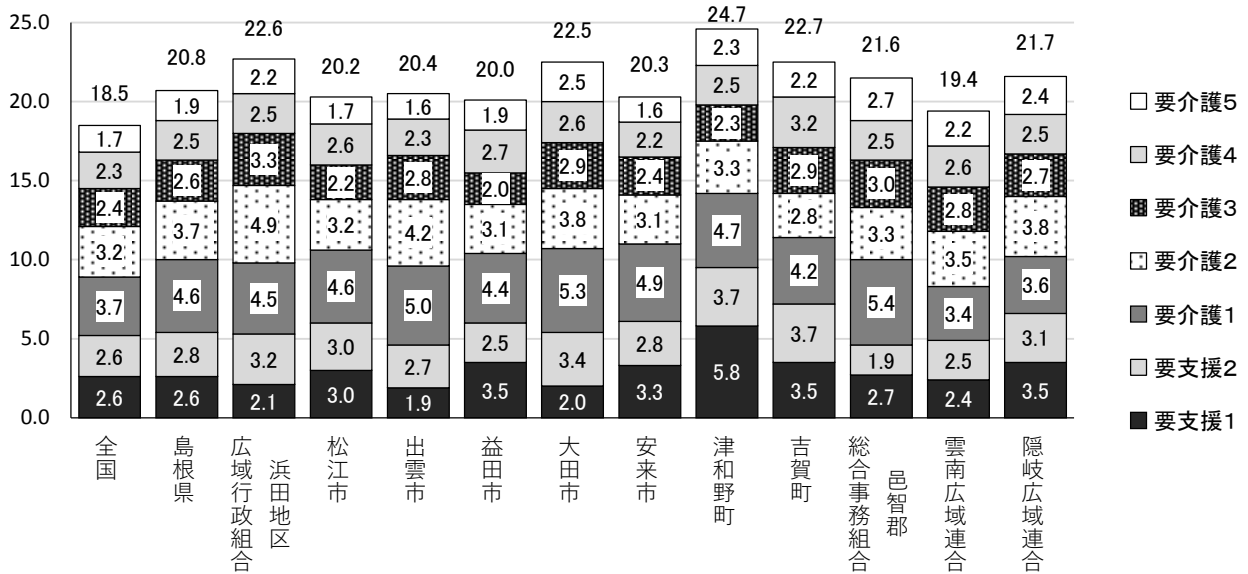
1. 要介護認定率

浜田圏域の要支援・要介護認定率は、全国や県と比較しても高くなっています。

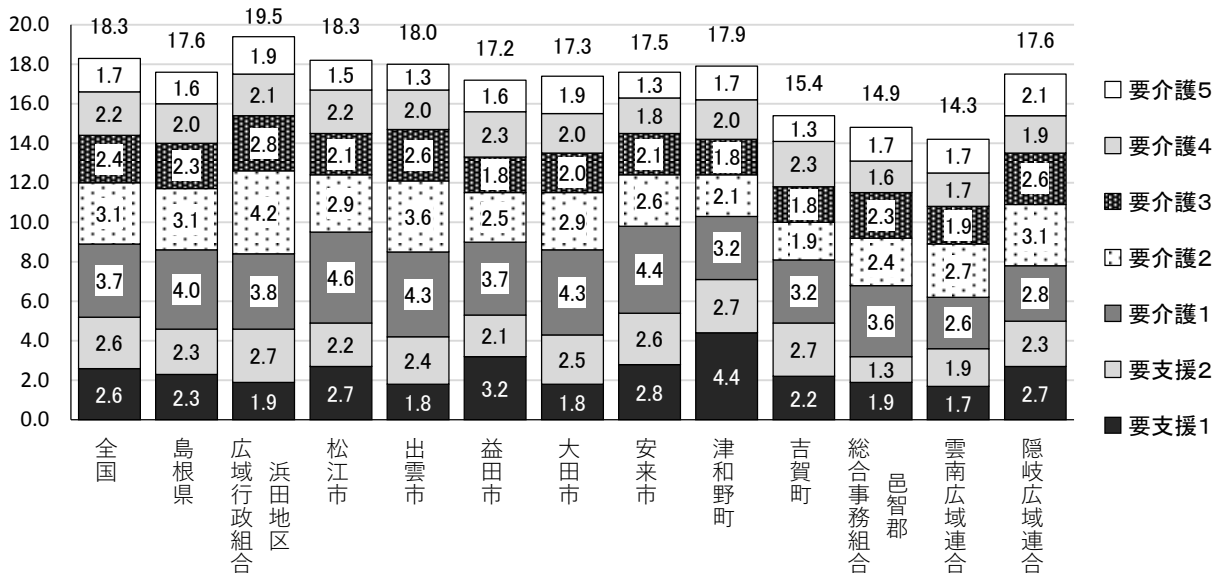
性別や年齢構成の差を考慮した場合の調整認定率では、島根県内で最も高い認定率となっています。

特に、要介護2・3といった中度の認定者が多いことがうかがえます。

○第1号被保険者の要支援・要介護認定率の比較(実認定率)



○第1号被保険者の要支援・要介護認定率の比較(調整認定率)



調整認定率： 年齢構成、男女別の人口に差が無かったと仮定した場合の要介護認定率。通常、高齢の女性や、後期高齢者の割合が高いほど認定率は高くなるが、それらが同じだった場合を仮定する。

資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」年報および総務省「住民基本台帳人口・世帯数」平成30年度末時点

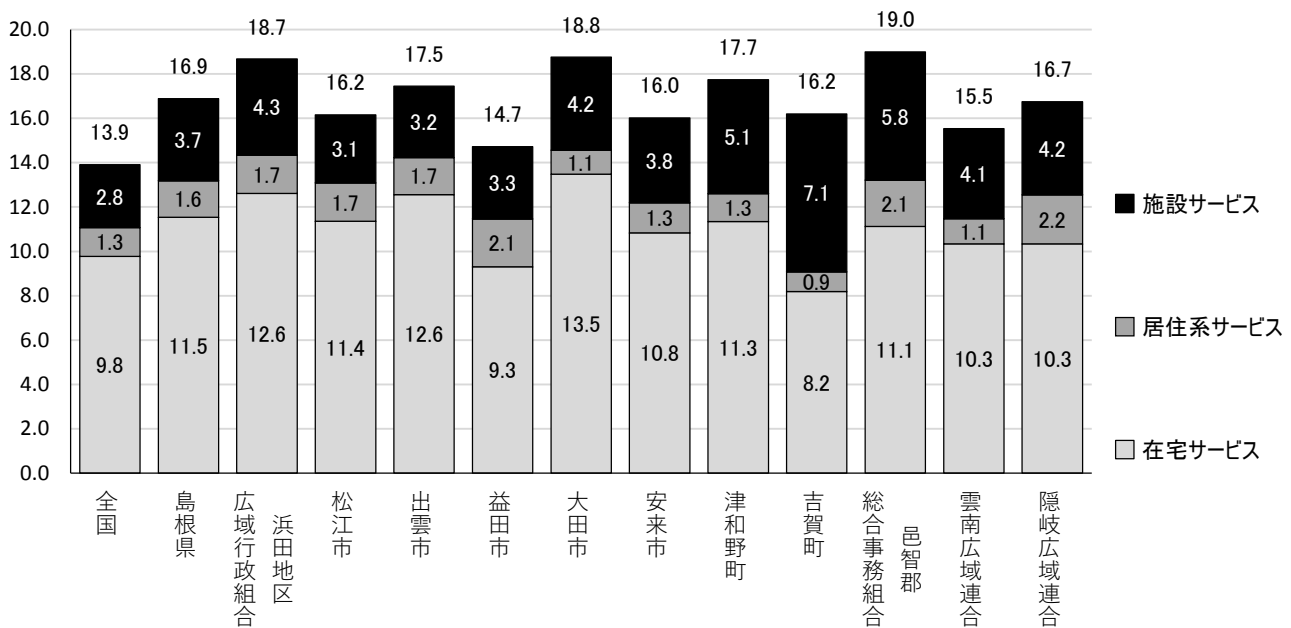
2. 介護保険給付の状況

浜田圏域では、在宅サービスの受給率が県内で2番目に高くなっています。

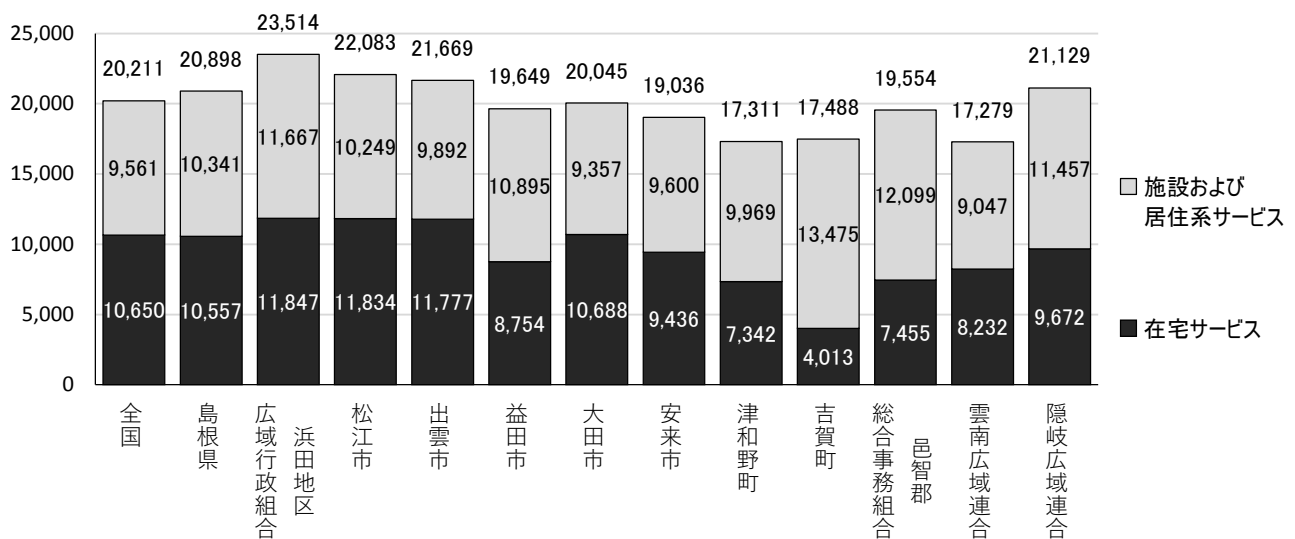
また、合計の受給率でも県内で3番目に高くなっており、国平均より約5ポイント高い利用となっています。

介護保険の給付額全体を第1号被保険者数で割った値は、介護保険料の金額差のベースとなる指標です。これで見ると、浜田圏域は県内で最も高くなっています。在宅サービスの充実とともに、施設・居住系サービスでも国・県を上回る整備を進めた結果です。

○介護保険サービスの受給率（高齢者中の利用者の割合）



○第1号被保険者一人あたりの給付額(円)



資料：厚生労働省「介護保険事業状況報告」（令和元年度月報）